



令和 6 年 9 月 1 日 現在	2,072 世帯
総世帯数	4,780 人
総人口	2,351 人
男	1,231 人
女	1,120 人

# 天候に左右された夏祭りの

## 川東会 お舟作り・お舟流し

8月1日、川東公民館にて町会福寿会の指導で、小学3年生以上の子も達がお舟作

りに挑んだ。お舟流しの由来を興味深く聞き、福寿会の皆さんが分かりやすく手解きして、大麦藁の立派なお舟が完成した。



8月16日、鎖川横の用水路沿いに灯籠を置き、かがり火が焚かれ、お舟流しの行事を行った。辺りが暗くなり、子ども達も浮かし見送った。20隻ほどのお舟がロウソクの火を灯し風流であり、これからは水が流れていく。行事である。

## 川西会 川西夏休みお楽しみ会

7月27日夕方、川西公民館公園にて開催されました。参加した9名の小学生は、目隠しをしてお菓子のつかみ取り、ビンゴ、スイカ割り、花火のイベントを楽しみました。



## 家会 雨神逃げた 寺家まつり



8月13日の寺家町会ふれあい夏祭りは、16時過ぎに大きな雷鳴が3度轟かせただけで雨神は逃げて、催しは滞りなくでき幸いだった。

各常会と消防団の出店も賑わい、18時半から子どもたちの花火大会、スイカ割りは会場を盛り上げた。当初鳴り物入りで作った盆踊り用演台は、松本ほんぼんの曲が流れだしても先導役が上がらず、役員が踊りだすも輪はできなかつた。30分間曲が流れ続け、200人余りの参加者の体に響いた。ビンゴゲームは、出玉番号の読み上げと景品の取り合いに歓声が響き渡る夏祭りだった。

## 川東町会 川東町会 ぬれあい納涼祭

8月14日、川東公民館及び南側広場で納涼祭が行われた。町会、各常会、各種団体の出店の他に、豪華景品付きのポッチャやスイカ割り、早飲み競争、玉入れなどの催し物も大盛況だった。涼を求め、夏の風物詩のスイカやかき氷、飲み物、流し素麺には行列ができて、大勢の人で賑わった。



## 南荒井会 南荒井子ども夏祭り

7月27日、南荒井公民館にて子ども夏祭りが開催されました。綿あめ、かき氷、すいか、ポップコーンが振舞われました。気温も上昇し、スイカとかき氷が人気でした。暑い中でも子どもたちはスノーボールすくい、水ヨーヨーすくいを楽しんでいました。



## 町神会 町神町会夏祭り



8月14日、夏祭りが町神公民館で大雨の中開催されました。大勢の方が参加され、スノーボールすくいやヨーヨー釣り、焼き鳥やお好み焼などの屋台、町神バンドによる演奏やビンゴゲームを楽しみました。

# 賑わった マスつかみ



7月21日、爽やかな晴天に恵まれ、マスつかみ大会が鎖川水代橋南側で行われた。役員、地域の皆さんで、3個のマス池に400匹のマスが放流され、大きな歓声を上げた。

## 猛暑の中での見学 群馬はやっぱり暑かった

8月21日、30名の参加で「史跡めぐり」が行われた。向かったのは10年前世界遺産登録された「富岡製糸場」。150年以上前の明治初期、政府が殖産興業の政策のため、新しい産業を興すべく創設した工場の一つで、フランス人技師を雇い、西洋と日本の技術が融合した建物は圧巻だ。正面の展示室がある東置繭所を出て社

宅群を見学。カイコの生態展示や昭和の暮らしを垣間見られて、「懐かしいね」と話して



から、約160名の参加者が1人2匹を目標に奮闘した。小学生保護者や地域の皆さん等観客約90名がマスつかみに挑んだ子ども達に声援を送る中、ヌルヌルしたマスを掴み易いように軍手をはめるが、思った以上に掴みにくく、池の水が濁ってどこにマスがいるのか手探り状態で一生懸命手を動かしていた。

自分の取り分2匹を取った後、取れてない友達の間も必死になり探してあげている小学生の姿や、掴んだマスが逃げてしまい、もう1度挑んで確保でき歓声をあげている姿がとても微笑ましかった。終了後の茹でもろこしをととても

## 梶海渡町会 防災訓練実施

7月14日午前8時、事前の想定に基づき町会(全100戸)の防災訓練が実施された。常会ごと第一次避難指定場所に集合し、安否確認後、引き続き第二次避難指定場所である梶海渡公民館に約50名が参

美味しそうに頬張って帰路に就いた。今夜の食卓には塩焼きが並ぶのでしようか。今年にはマスの確保に苦労したが、皆さんのご苦労により無事開催され、総勢250名の参加者が楽しいひと時を過ごすことができた。

いた。繭を保管する西置繭所へ行くと木骨煉瓦造という建築方法が良く分かる。漆喰壁には職人と思われる名前の落書きがあった。世界最大規模を誇った練糸所は、繭から生糸を取るための建物で、フランス式練糸器が設置された。説明と実演をする場所があり、「冬は大変だったろうね」とか「不器用な私には無理」との感想が聞かれた。昼食をとり、こんにやくパークに寄り、お土産を買いながら帰路に就いた。

**キーワードはなに?**

本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて言葉にしてください。わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。アンケートにお答えいただいた正解者の中から抽選で**5名に500円分の図書カード**をプレゼント!締切は**10月25日(金)**、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております!

【前回の答え】 **パリオリンピック**      【今回のキーワード】 ○○○○○○

集した。訓練途中から本番さながらに雨となったが、全員が有事に備え真剣な面持ちで参加した。

訓練後は、町会内の親睦を兼ねて公民館運動場で「ポッチャ」を実施し、優勝は東部常会・準優勝は南部常会であった。

## 鎖川

公民館報神林版も来年11月に400号を迎える。時折気にしていることが2つあります。1つは、題字の下に毎号神林の世帯数、総人口男女数が記載されています。始まりは、昭和62年4月1日1293世帯、総人口4864人で男2336人、女2528人とある。それが、平成3年4月1日には、1464世帯、5222人で、男2503人、女2719人と、171世帯358人増えた。今年7月には2082世帯、4789人、男2349人、女2440人となっている。ピーク時の人口からは男154人、女279人で433人減少しています。この欄は神林が始めて、他地区が追従している。

次にコラム欄の「鎖川」ですが、これは昭和49年7月30日号から始め、神林版で誇れる欄です。なぜなら市民タイムスクラム担当の古川寿一さんが、時折この「鎖川」の内容を取り上げ、市民タイムスクラム欄に掲載していただいていた。館報全市版でも平成3年9月号から「おこひる」として新人が担当して書いています。